

## 新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。  
公益社団法人教育文化協会（ILEC）<sup>アイレック</sup>の諸活動に対するご理解、ご協力に厚く御礼申し上げます。本年が皆様方にとってより良い1年となりますよう心よりお祈りいたします。

私が理事長に就任して1年が経ちました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響は、未だ、私たちの経済社会活動に大きな影響を与えています。また、国際情勢の不安定化は、急激な物価高や為替変動等を招き、働く者、生活者は、厳しい毎日を余儀なくされています。一方、貧困や分断、デジタル化に伴い拡大するプラットフォームワーカーの労働環境に対しては、グローバル社会が力を合わせて解決に向けた道筋を示さねばなりません。そしてまた、公正な労働と多様性ある社会の構築には一人ひとりの行動変容が欠かせません。



理事長 相原 康伸

ILECは、新たな時代を拓く人財の育成に向けて努力を続けて参ります。全国24大学で開講中の「連合寄付講座」は、社会の担い手となる多くの学生の皆さんと対話を重ねています。労働組合の社会的な意義やワークルールへの理解はもとより、より良い社会づくりに向けた若者への期待と実践の重要性を共有しています。また、労働運動・社会運動の将来を担うリーダーの育成を目的とした「Rengoアカデミー・マスターコース」は、回を重ね、約500名を数える修了生は、それぞれの立場で中核的な役割を果たしています。さらに、本年度開設8年目を迎える「連合大学院」は、公益の新たな担い手となる高度専門人財の学びの場として、内外から高い評価を頂戴するまでに前進を果たすことが出来ました。

働く仲間やその家族、また広く一般の皆様から愛されて参りました「幸せさがし文化展」は、本年2月1日から募集を開始いたします。日ごろより創作活動に励む方から、初心者の方までどなたでもご応募いただけます。また、一つの節目となる第20回「私の提言」は、3月より募集開始予定です。連合組合員はじめ、学生や一般の皆様から、未来に向けて連合、労働組合が求められる役割等について多くの提言を頂きたいと思っております。これら両事業を通じて、多くの皆様へ社会参加の機会を提供することが出来ればと思っております。

ILECは本年も、様々な学びの扉、社会参加の扉をより多くの皆様に向けて頂くことができる様、努めて参ります。そのことが、社会を形作る公益の最大化につながるものと確信致します。皆様方の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。

# Rengoアカデミー第22回マスターコースが開講

Rengoアカデミー第22回マスターコース（校長：芳野友子連合会長）が2022年11月13日（日）に開講し、MELONDIAあざみ野で開講式を行いました。

主催者挨拶で相原理事長は、「自分がこれまでに得た知見を棚卸しブラッシュアップしていく1年間になるだろう。非日常を味わうことで見えてくることがある。アカデミーを通してみなさんが新たな自分と出会うことに期待している」と受講生に伝えました。



つづいて、芳野友子Rengoアカデミー校長のビデオメッセージの後、中村圭介教務委員長（法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授）から、受講生に対する激励のメッセージが送られました。最後に、基幹労連の洪澤厚子さんより、受講生20名を代表して決意表明が行われました。

開講式の後からスタートした5泊6日の前期合宿では、幅広い領域・分野の講義（下表①）を受けるとともに、グループワークを通じて活発な意見交換を行いました。また、講義後は5つのゼミナール（下表②）に分かれ、熱心に議論を交わしました。受講生は今後、数回行われる必修ゼミで自身の課題認識を掘り下げ、後期合宿（2023年5月14日～19日）では修了論文の構想を発表する予定です。

7月の修了論文提出、9月の修了式まで約1年にわたるプログラムとなりますが、後期も感染対策を徹底し、運営してまいります。派遣いただいている各組織におかれましては、受講生への温かいご協力・ご支援をお願いいたします。

## ①Rengoアカデミー第22回マスターコース・前期集中講義の内容

| 講義日          | 科目                 | 講師氏名                                     |
|--------------|--------------------|--|
| 11/13<br>(日) | 論文のまとめ方            | 中村 圭介 Rengoアカデミー教務委員長                    |
|              | 連合の役割・行動I          | 清水 秀行 連合事務局長                             |
| 11/14<br>(月) | アサーティブ・トレーニング      | 竹崎かずみ アサーティブ・ジャパン専属講師                    |
|              | 歴史からみた労働組合の役割      | 仁田 道夫 東京大学名誉教授                           |
| 11/15<br>(火) | 労働法の基礎             | 長谷川 聡 専修大学教授                             |
|              | 連合組織強化の課題          | 山本 昌弘 連合総合組織局長                           |
|              |                    | 中村 圭介 Rengoアカデミー教務委員長                    |
| 11/16<br>(水) | 雇用・労使関係の変化と労働法制の課題 | 浜村 彰 法政大学教授                              |
|              | 仕事と賃金              | 石田 光男 同志社大学名誉教授                          |
| 11/17<br>(木) | 社会保障のとらえ方          | 菅沼 隆 立教大学教授                              |
|              | 「安心社会」への戦略を考える     | 宮本 太郎 中央大学教授                             |
| 11/18<br>(金) | 労働者自主福祉の課題         | 高橋 均 中央労協講師団講師                           |
|              |                    | 伊丹謙太郎 法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授             |
|              | アカデミー中間整理          | 麻生 裕子 連合総研主任研究員                          |
|              |                    | 相原 康伸 教育文化協会理事長<br>中村 圭介 Rengoアカデミー教務委員長 |

## ②ゼミナールの内容

| 担当教員・テーマ   |
|--|
| <b>禹ゼミ</b><br>禹 宗杭 埼玉大学教授<br>グローバル化と日本の労働組合        |
| <b>梅崎ゼミ</b><br>梅崎 修 法政大学教授<br>キャリアと労使関係            |
| <b>木本ゼミ</b><br>木本喜美子 一橋大学名誉教授<br>少子高齢社会のなかの人間と労働組合 |
| <b>橋元ゼミ</b><br>橋元 秀一 國學院大學教授<br>企業・職場と労働組合         |
| <b>浜村ゼミ</b><br>浜村 彰 法政大学教授<br>労働法と労働組合             |

## 第19回「私の提言」表彰式を実施

2022年12月1日（木）の連合・第89回中央委員会で第19回「私の提言」表彰式が行われました。当日は、会場に来られなかった「優秀賞」を受賞した前川葵唯さん（一橋大学社会学部2年）の表彰と提言要旨発表の様子を動画で流し、続いて「佳作賞」を受賞した中村猛利さん（連合滋賀・前副事務局長）に会場にお越しいただき、連合・芳野会長より賞状授与の後、提言に込めた想いを会場の参加者へ直接伝えていただきました。

教育文化協会では、入賞提言4編を掲載した入賞提言集を会員組織に配付しているとともに、ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



## 第17回「労働法講座」(基礎コース)を開催

2022年10月25日(火)～26日(水)、連合会館において第17回「労働法講座」(基礎コース)を開催し、22名が参加しました(対面19名、オンライン3名)。前回に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策の観点から受講者を制限し、遠方の方々についてはオンライン参加を認め、ハイフレックス形式での開催となりました。

初日は村上陽子連合副事務局長から、直面している問題(「曖昧な雇用」、フリーランスに関する問題、雇用保険法改正など)を例に労働組合や連合の取り組みを紹介したのちに野川忍明治大学法科大学院教授から、労働法の必要性や役割、全体像に加え、労働契約法、労働安全衛生法などについて講義いただきました。

2日目は森戸英幸慶應義塾大学法科大学院教授から、労働組合法や男女雇用機会均等法、非正社員の待遇格差、障害者雇用促進法などをお話いただきました。

今年の秋にも労働法講座(基礎コース)を開講する予定です。皆様のご参加をお待ちしています。



▲村上副事務局長



▲野川教授



▲森戸教授

### 受講者アンケートより

- ◇野川教授、森戸教授ともに、とても噛み砕いて説明して頂けたので、初めて聞く内容だったが、理解することができた。
- ◇難し過ぎて眠くなってしまいかも!と思っていたが、わかりやすく説明していただき集中して聞くことができた。判例などじっくり読んでみたいと思う。
- ◇非常に分かりやすかった。特に淡々と解説するのではなく、「この法律(条文)、制度はすごいぞ!」とメリハリをつけてくれて、ポイントがすごく伝わった。労働法を網羅的に学習でき、全体像を押さえられる講座だった。自分では勉強しにくい歴史的な変遷も触れていただき、ただ条文を覚えるだけではなく法律自体の趣旨が分かったことで理解度が上がったように思う。



## 「ワークルール検定2022・秋」を実施

教育文化協会は、連合や中央労福協などとともに、労働法などワークルールに関わる一般的な知識の理解度について検定を行う「ワークルール検定」の運営に参画しながら、その展開・拡大に取り組んでいます。今回は2022年11月27日(日)に初級検定を全国28ヵ所、中級検定を全国4ヵ所で実施しました。初級は、1,168名の方が受検し671名の方が、中級は247名の方が受検し170名の方が合格されました。



次回の検定は、2023年6月11日(日)に初級と中級を実施する予定です。詳しくは下記ホームページをご覧ください(2023年3月上旬掲載予定)。



①HP : <https://workrule-kentei.jp/>

②Facebook : <https://www.facebook.com/workrulekentei/>

③Twitter : <https://twitter.com/workrulekentei>

# 第13回 連合・ILEC 幸せさがし文化展

～ アートを、心に。～

## 作品募集スタート



「連合・ILEC幸せさがし文化展」は、日常に文化芸術の薫りを感じ、日々の生活に心豊かな時間を取り入れるきっかけの場として2年に1度開催しています。絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門で作品を募集し、入賞作品を展示する展覧会も開催します。日ごろから創作活動に励む方から初心者までどなたでも応募いただけるよう多様な賞を用意しており、出品料もありませんのでお気軽にご応募いただけます。会員の皆さま、ご家族の皆さま、OB・OGの皆さまなど、ぜひお声がけの上、ふるってご参加ください。ご応募お待ちしております。



▲第12回文化展絵画の部  
「連合大賞」作品

### ◆募集期間

★俳句・川柳・写真（データ応募）部門  
2月1日（水）～5月29日（月）  
（当日消印・受付印有効）

★絵画・書道・写真（プリント応募）部門  
4月1日（土）～5月29日（月）  
（当日消印・受付印有効）

### ◆各賞

★絵画・写真・書道の部（各部門）  
連合大賞・ILEC大賞 各1名 賞金10万円  
シニア特別賞 1名 賞金3万円、ジュニア特別賞 1名 図書カード3万円、その他各賞（3部門計66名）

★俳句・川柳の部（各部門）  
連合大賞・ILEC大賞 各1名 賞金5万円  
シニア特別賞 1名 賞金3万円、ジュニア特別賞 1名 図書カード3万円、その他各賞（2部門計74名）

### ◆入賞者発表・展覧会

- ・7月21日（金）に入賞者をILECウェブサイトで発表。
- ・10月初旬に東京芸術劇場（東京・池袋）にて入賞作品の展覧会を開催予定。

## 連帯社会研究交流センター「連帯社会」連続講座のご案内

連合大学院を運営する「連帯社会研究交流センター」では、連帯社会に関わる研究者の方々の問題提起をいただく連続講座を実施しています。

オンライン（Zoom）開催のため全国どこからでもご参加可能です。皆さまのご参加をお待ちしています。

お申込みは  
こちらから→



<http://recss.jp/event.html>

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 1月21日（土）<br>15：00～16：40 | テーマ：『地域資源を活用した地域課題の解決策の事業化 姫路発！<br>観光・企業・女性の就労などの支援に取り組む女性たち』<br>講 師：玉田恵美（NPO法人姫路コンベンションサポート代表理事） |
| 2月18日（土）<br>15：00～16：40 | テーマ：『連帯とは何か—世界で語られてきた連帯論』<br>講 師：馬淵浩二（中央学院大学教授）   |
| 3月11日（土）<br>15：00～16：40 | テーマ：『互助社会の現状と課題—伝統的な互助慣行から考える—』<br>講 師：恩田守雄（経済社会学会会長、前・流通経済大学教授）                                  |

## 編集後記

あけましておめでとうございます。今年は卯年。卯年は芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年といわれるそうです。体重だけでなく人として大きく成長できる一年にしたいと思います。  
(まち子)